

ごうちゃんひろば

次の10年へ



知ろう 好きになろう 東十郷



健康福祉部会

「地域共生社会」に向けて、今年度は、「北潟ごうちゃんウォーク」のように、初めて参加する方も増えるようなイベントを実施し、東十郷地区がより健康で住みよいまちになるようめざしていきます。

部会長 水上 真裕



生活環境部会

初めての試みとして、親子参加での「十郷用水せせらぎの清掃&アマゴのつかみどり」を行います。他、今年度も、地域を花いっぱいにする活動や支援、野菜の育て方講習会への参加を呼びかけていきます。

部会長 坪川 勇三



未来創造座談会(市長と語る会) [7.20]

教育文化部会

今年度の行事は、駅舎ごうちゃんホールでの年2回の展示会、駅舎でコンサート、文化講演会を予定しています。また、一年を通じて、これまでに作成した紙芝居の活用と新たな紙芝居作りに挑戦したいです。

部会長 多田 直子

防災安全部会

防災安全部会は、「児童・生徒の通学路の安全確保」と「災害時の被害減少化への点検」の項目を重点活動に行っています。安全で安心な地域づくりと、次世代を担う児童・生徒が住みやすくするための活動を行っているグループです。賛同者歓迎いたします。

部会長 後藤 勝日光



東十郷の地区

徳分田区

TOKU
BUN
DEN

東十郷「いいね風景」「いいね人物」を下記まで教えて下さい。

地区の紹介

私たちの住む徳分田区は、坂井平野の田園地帯にある約50世帯の集落で、春江町との境を兵庫川が流れる長閑な農村です。

現在、地区内の農地では、美味しいお米を生産するため、用水路のパイプライン工事が進められているところです。

子どものころから何も変わらないと感じていましたが、近年は集落内に新しいご家族も引っ越してこれ、新たな息吹をもたらしてくれています。

また、嶺北縦貫道路を南に向かうと、大型の郊外店が次々と進出しており、益々住みよさが高まっていくのではと期待しています。

行事/イベント

徳分田区では、日吉神社の初詣、4月には春祭り、7月には秋祭り、11月には新穀感謝祭を行っています。

特に秋祭りでは、神社において、焼き鳥や焼きそば、生ビール、かき氷などの模擬店や、カラオケ大会を実施し、地区内で楽しく交流を深めてきました。

また、壮年会の活動も活発で、お祭りでは中心となって模擬店を運営するとともに、研修旅行や忘年会では大いに盛り上がってきました。

ここ3年間は、新型コロナの影響でお祭りや研修旅行など、賑やかな催しは行われていませんが、今年は何とか開催して、楽しいひと時を過ごすことができると思っています。

令和5年区長 佐藤弘幸



東十郷まちづくり協議会

〒919-0511 坂井市坂井町長畑 25-11-1
東十郷コミュニティセンター内 東十郷まちづくり協議会 TEL : 66-4567 FAX : 50-3083
E-mail : jugo-p@mx3.fctv.ne.jp (お問い合わせやご意見・ご感想もこちらまでお気軽にどうぞ)
http://www3.fctv.ne.jp/~jugo-p ※この冊子に掲載をご希望の方はふるってご応募ください。

子どもが住みたくなるまちニーズ調査チーム



大変すばらしい企画、地域課題解決が一步步進んで楽しく感じます。

年間の具体的な提案を皆さん一人一人真剣に取り組まれていて身が引き締まる思いです。

子どもたちの意見を取り入れて、魅力ある東十郷地区にしていきたいと思えますし、まちづくり協議会として、このような活動をしていることが、もつと地区の方々にも伝わるいいなと思います。

自分たちの想いが若い世代に伝わればいいなあ：私たちのグループはいつも笑っているのでぜひぜひ参加してほしいです！

このような大人気で話し合い、考えをまとめることは大変だが、皆さん熱意もあるので前回よりプランが実現できそうと感じた。

一人一人が物語を紡ぐガーデニングチーム



グループの良い点を示してくださる中に、次のステップへの助言があつてすばらしい！♡と思えました。ありがとうございました。ございました。

どのグループも順調に進んでいるようで、負けてはいられないですね。(笑)

具体的にしなければならぬ(笑)何事でもやればいいのか？迷うところもあつたが、少し糸口が見えたように感じます。

みんなのコミセン居場所づくりチーム



今後、計画を実行していくのが楽しみです。もつと若い人(高校生、大学生)にも参加していただけたら、より良いと思います。

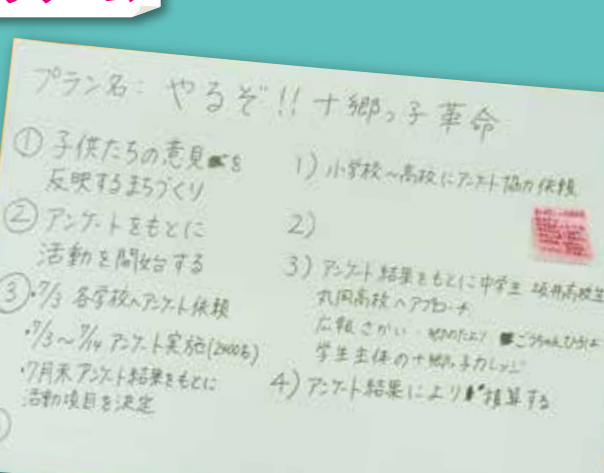
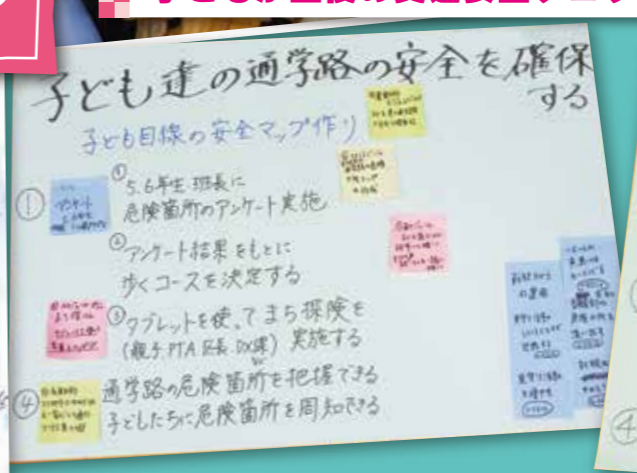
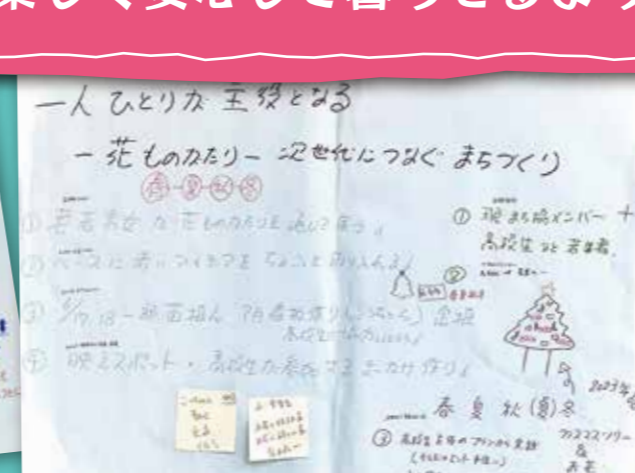
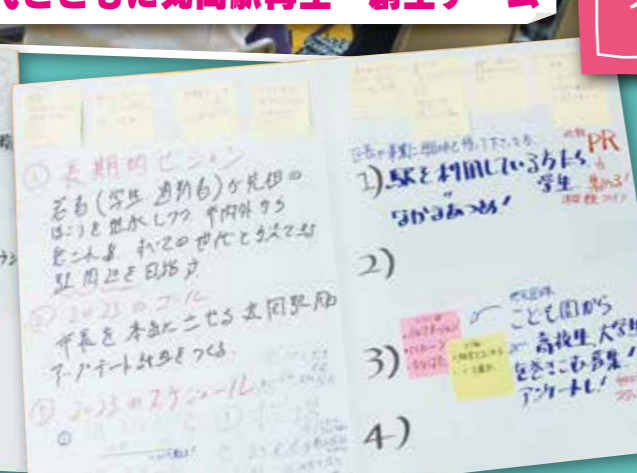
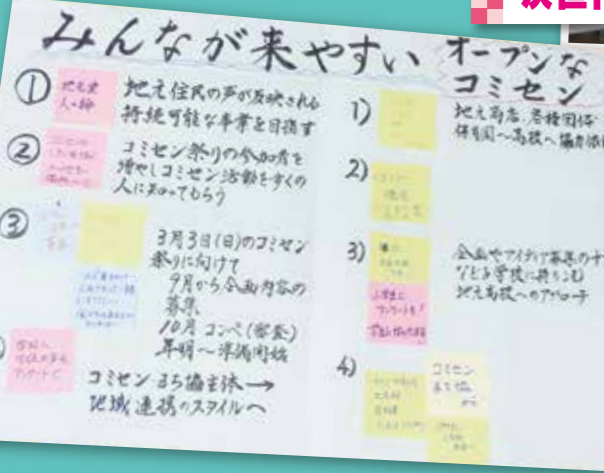
みんなで考えを出し合うと、いろんなアイデアが出て自分では気づけなかつたことを発見できました。

東十郷地区の未来像ワークショップ

次世代が愛され、主役となり、楽しく安心して暮らせるまち

次世代とともに丸岡駅再生・創生チーム

子どもが主役の交通安全チェックチーム



昨年度、東十郷まちづくり協議会、東十郷コミュニティセンター、地元在住の丸岡高校生お二人とまちづくりカレッジに参加し、「若者が活躍できるまち、郷土あふれるまち」にするには：と話し合い、段階を踏みながら現在は初めてのアクションプランに！

2月からスタートした東十郷まちづくりワークショップは5回を経て、5つのプロジェクトチームが立ち上がりました。まちづくりは、「次世代が主役」になる時代。子ども達が参画するまちをめざして、①子どもたちの意見をまちづくりに反映するためのニーズ調査、②通学路の調査と安全確保、③子どもと大人と一緒に取り組むガーデニング、④コミュニティセンターのオープンな居場所づくり、⑤駅を中心としたまちづくりの5つに取り組んでいきます。

東十郷地区には、第6期坂井市まちづくりカレッジの修了生が5名もいてワークショップのけん引力に！そのうち二人は高校生です。これまで活動してきたまちづくり協議会の内容に新しい視点を加えながら、住民主体の課題解決型まちづくりを進めます。いつでも誰でも参加できます。ぜひ、東十郷地区の皆さん、一緒に活動しましょう！



坂井市まちづくりカレッジ講師
東十郷まちづくりワークショップ
ファシリテーター
水上 聡子

東十郷まちづくり協議会 会長 五十嵐正博
まちづくり協議会が発足してから十数年が経ちました。
これまでたくさんの方のご支援のもと様々な活動に取り組んできましたが、さらにこれらを発展させるべく、今回これからの東十郷地区の将来像を考えようと、ワークショップ形式でみんなで語り合う場を設けることとしました。
みんなで考え、みんなで実行し、少しずつでも素敵な東十郷になればと思っております。

東十郷コミュニティセンター
センター長 長谷川義彦
まちづくり協議会の活動内容がマンネリ化しているのでは、との反省から、新しい風を吹かせようと、このワークショップを企画しました。
今回は、部会員だけでなく、関心のある方々にもご参加いただき、いくつかのテーマに分かれて、話し合いを進めています。
高校生が提案してくれた地域の課題把握や、丸岡駅のこと、安全・安心につながるなど、どれも大切な内容で、話し合いをもとに実践につながるよう、具体的な内容にまで深く掘り下げています。
これを機に、少しでも東十郷に目を向け、関心を持ってもらえたらありがたいです。
皆様のまちづくり協議会へのご参加お待ちしております。

東十郷のみんわ 1

今のお話 《十郷用水(じゅうじょうじしゅすい)》

スタート



1000年前(貴族が治めた平安時代)、福井は越前とよばれていました。では、今の坂井町近辺は何と呼ばれていたのでしょうか？



「河口十郷」とよばれていました。郷とは「村」です。九頭竜川の河口にできた十の村、その東にあったので、私たちの地域は「東十郷」とよばれました。



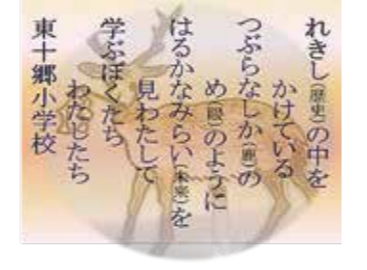
「鹿が水の始まりを教えてくれた」(今の鳴鹿の地)鹿は、河口十郷に走ります。右へ左へ…3名は、走った通り追いかけます。すると鹿は、本庄(あわら)でふっと消えました。



村人たちは、鹿の走った通りに溝を掘ります。鹿が鳴いたところで水をせき止め、堰を外すと、ザーと水は溝を流れました。これが、十郷用水で、1000年の流れとなりました。



「鹿(しか)」でした。3名は、「神様の使いだ」と思って後をつけます。鹿は、谷あい急で立ち止まり、口にくわえた御幣を振り回しながら、キュキュキュ、3回鳴きました。



十郷用水を導いてくれた「鹿」のおかげで、今、楽しく勉強したり、運動したり、遊んだりできます。このことを忘れないために、東十郷小の校歌にも鹿がうたわれています。



3名は、とんとん九頭竜川を上っていきました。すると、今のグリーンセンター辺りまで来たとき、不意に現れ出たものがありました。さて、それは、何だったでしょう。

どうして私たちの地域は、「東十郷」というのかしら？
どうして東十郷といえは「鹿」なのかしら？



この民話を読めば、答えが分かりますよ。小学生のみなさんはすでに勉強していますね。教えてあげてくださいね。

くずりゅうがわ かわかみ
九頭竜川の川上をたずねていけー。
そうすれば必ず水はえられるであろう。

3名は、一生懸命春日神社に祈りました。すると、その夜、3名は、全く同じ夢を見ました。神様が現れ、九頭竜川の川上をたどるようというものでした。

かすがじんじゃ
春日神社にいのれー

最後にあがったのは、当時の頂点だった朝廷(天皇)でした。天皇は、「水を得たいのか。得たいなら、春日神社に祈れー」と言われました。



その時代、河口十郷を治めていたのが、「藤原国貞(ふじわらのくにさだ)」。国貞が大事に思っていたのが、奈良にあった「春日神社」(現在の春日大社)でした。



国貞は、春日神社に土地を寄進しました。その代わりに、奈良から河口十郷に「春日神社の神様」をおよびました。神様とともに、600名がやってきました。



国貞は、河口十郷に、念願の春日神社を建てました。十の村すべてに、春日神社を建てました。「十郷十社(じゅうじょうじしゅ)」といえます。それが今も残っているのです。



1000年前の東十郷では、全く米がとれませんでした。麦、豆だけでした。水がなかったのです。村人たちは、どうかして水を取り入れたいと強く願っていました。



その願いを何とかしようとしたのが、新庄の神主の、水上定蔵他3名でした。3名は、勝山の平泉寺に頼みに行きました。その頼みは、奈良の興福寺にありました。

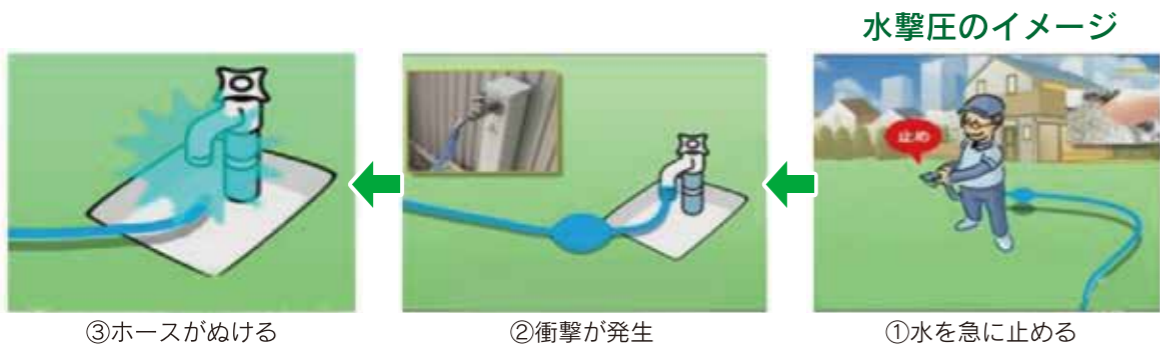


中山事務局長

福井平野を潤すこのパイプライン事業は、全国有数の規模で、全国各地から大勢の方が、施設の見学にいらっしやいます。そしてこの事業は、小学5年生の社会科の教科書にも載っているんですよ。

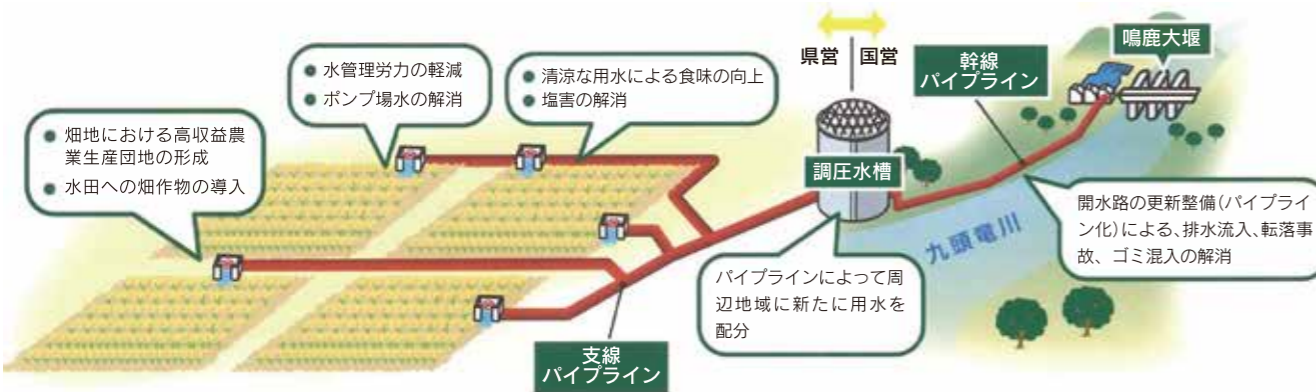


「東十郷地区」 ごうちゃんの ディープ過ぎるシリーズ No.1 ふるさと豆知識



水撃圧のイメージ
マーで叩くような音がしたら気を付けてください。水道管の破損につながります。これと同じことがパイプラインでも起こります。だから水の圧力を調節するこの施設はとても大切なんですよ。

鳴鹿地点で取水した水を自然圧で末端ほ場まで安定的に供給(いつでもどこでも自由に水利用が可能)。



Q2 事業の効果を教えてください！

- 畑地における高収益農業生産団地の形成
- 水田への畑作物の導入
- 水管理労力の軽減
- ポンプ場水の解消
- 清涼な用水による食味の向上
- 塩害の解消
- 開水路の更新整備(パイプライン化)による、排水流入、転落事故、ゴミ混入の解消
- パイプラインによって周辺地域に新たに用水を配分



これからますます可能性を秘めた全国に誇れるパイプライン事業なんだね。もっと詳しく知りたい方は右記のQRコードを見てみて！
東十郷のすごい施設、これ知っとこーね。



中山事務局長 九頭竜川のきれいで冷たい水を自由に安定して利用できるようになりました。夏は夜間にパイプラインの冷たい水を水田に入れると、水田の温度上昇を抑制しお米の品質が良くなります。



Q1 「十郷調圧水槽」はなぜ必要ですか？

中山事務局長 上下流双方への圧力変動を遮断し、安定した圧力で地区内に農業用水を配るとともに、水撃圧によりパイプラインの破損を防止するための施設です。
うーん、難しいですね。イメージ図で説明しましょう。
例えばホースを蛇口につないで水を流します。そして急に水を止めると、流れていた水の運動エネルギーが行き場を失い、蛇口(上流の方に)圧力をもたせて向かいます。そしてホースが抜けます。これが「水撃圧(ウォーターハンマー)」と呼ばれるものです。もしご家庭で、水道を急に止めた時「ドン」「ガン」というハン

定旨地区にある、これ見たことあるよね。「これっていつたいたんだろう?」なんのためにあるの?」って、疑問に思ったことない?ただの水槽じゃないんだよ。もちろんカントリーエレベーターでもないんだよ。正式な名前は「十郷調圧水槽」と言い、農業用水を配る施設なんだって。
高さは30m(てっぺんが水を取り入れている鳴鹿大堰と同じ高さ)、内径は36mあります。ではどうしてこんな大きな施設が必要なんだろう?その答えを聞くために、丸岡町にある「九頭竜川鳴鹿土地改良区」の中山事務局長を尋ねたよ!!

